記入例

平成 22 年　＊月　＊日

平成 22 年度山村再生プラン応募申請書

株式会社アミタ持続可能経済研究所
代表取締役　唐鎌　真一　殿

応募者（組織）の住所
〒　000－0000
○○県△△郡●●村◇◇1234 番地

応募者（組織）の名称、代表者氏名
●●村の里山を活かす会
代表理事　　山村　力　　印

平成 22 年度において、山村再生プランを実施したいので応募します。ついては、次の区分のプランについて、下記のとおり関係書類を添えて申請します。なお、応募にあたり、下記の事項について誓約します。

記

1. 応募者は、平成 22 年度山村再生プラン募集要領に定める応募資格を満たしています。
2. 平成 22 年度山村再生プラン募集要領に記載された応募条件を全て承諾の上で応募します。

事業の名称：薪生産・販売による●●村の里山ビジネスの構築

応募山村再生プランのタイプ区分	助成区分※1		
	計画	試行	評価
1. 森林・地域資源を活用した新たな商品化・事業化の取組	○	○	○
2. 森林・山村体験活動等の事業化の取組			
3. その他（1～2 を組み合わせた複合的な取組等）			

※1　該当する応募プランの助成区分に○印をつけて下さい。
3 のタイプにあっては、該当する 1～2 にも○印をつけて下さい。

ﾁｪｯｸ欄	提　出　書　類
✓	0. 平成 22 年度山村再生プラン応募申請書（※本申請書）（8 部）
✓	1. 平成 22 年度山村再生プラン　基本情報シート（8 部）
✓	2. 平成 22 年度山村再生プラン　詳細情報シート（8 部）
✓	3. 平成 22 年度山村再生プラン　過年度山村再生プランとの比較表（8 部）
✓	4. 平成 22 年度山村再生プラン　アドバイザーの派遣要請について（8 部）
✓	5. 電子データ（CD-R 等）（1 枚）
	6. 添付資料（各 8 部）
✓	① ●●村の里山を活かす会 定款、役員名簿、構成員名簿（各 8 部）
✓	② ●●村の里山を活かす会 パンフレット、ニュースレター（最新版）（各 8 部）

注 1）「0」～「2」及び「4」は、全て必須の書類です。必ず提出下さい。
注 2）「3」は、平成 20 年度もしくは平成 21 年度に山村再生プランの助成を受けた方で、継続して同様の事業に取り組む方は、本比較表を作成し提出下さい。
注 3）「5」は、「0」～「4」の各書類を電子ファイルで作成された方のみ提出下さい。
注 4）「6.添付資料」には、添付資料ごとに○で囲んだ数字番号を記入し、上記の「6.添付資料」欄に、添付した書類等の数字番号に応じた資料名称を簡潔に記入下さい。

1．平成 22 年度山村再生プラン　基本情報シート

※本様式を使用の上、**原則 A4 用紙 4 枚**で作成して下さい。

(1) 山村再生プランの事業名称

事業の名称	薪生産・販売による●●村の里山ビジネスの構築

(2) 応募者の概要

応募者（組織）の名称	フリガナ　●●ムラノサトヤマヲイカスカイ ●●村の里山を活かす会		（設立年月日） 西暦　2007年　7月	
代表者氏名	フリガナ　サンソン　チカラ 山村　力		（役　職） 代表理事	
応募者（組織）の所在地・連絡先	住所　（〒　000－0000　） ○○県△△郡●●村◇◇1234番地 TEL：　0000-00-0000　FAX：　0000-00-0000 E-mail：　●●-ikasukai@****.jp			
ホームページ　URL	http:// www. ●●-ikasukai.****.jp /			
応募者（組織）の主な業務内容又は活動内容	当会は、●●村に広がる美しく豊かな里山を持続的に活用しながら時代に伝えていくことを目的として、●●村の住民や●●村をこよなく愛する都市住民などで結成された。●●村の里山整備活動とシイタケ用ほだ木の提供、里山自然観察会の企画運営、山菜やきのこなど地域の里山で取れる産品を使った加工品の生産・販売活動などを行っている。			
応募者（組織）の本事業に関連した活動実績	本事業で提案している「薪の生産・販売」に関しては、ビジネスとしては初めての取組であるが、当会ではこれまでに××ha/の里山整備活動を行い、そこで間伐した広葉樹の一部(**㎥/年)をシイタケ栽培用原木として、村民に有償で提供している。			
応募者（組織）財政状態※1　単位/万円	区　分	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	総資産	―	―	―
	純資産	―	―	―
	うち資本金	―	―	―
応募者（組織）経営状態※2　単位/万円	区　分	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	売上高	100	150	220
	営業利益	20	30	50
	経常利益	5	15	20

注 1）地方公共団体の場合は、地方公共団体名、首長及び所在地等を記入下さい。
注 2）団体規約、定款、寄附行為がある場合は、添付下さい。
注 3）任意団体の場合は、任意団体の構成や目的、事務局が確認できる規約又は約款、構成員の名簿を添付下さい。
注 4）※1・※2：既に創業して売上実績があるなど、記載できる事項がある場合に記入下さい。

(3) 事業の概要

① 背景・課題・目的・主な事業内容

応募される再生プラン（事業）の背景・課題・目的・主な事業内容について、簡潔かつ明瞭に記入下さい。
※支援が決定した場合には、本欄の記入内容は公表を予定しておりますので、予めご承知おき下さい。

背景・課題・目的	●●村は、○○県の県庁所在地である○○市の北西30kmに位置する、人口約5千人の山村である。村の主産業は林業と観光業であり、人工林での用材生産、山村レクリエーション客を対象とした宿泊業などが盛んである。かつては里山林での薪炭生産が行われていたが、燃料革命以後、里山林は放置され、森林の高齢化が進んでいる。 ●●村では、林業の活性化と村の産業振興を目的として、●●村産材の木を使った家の提供に力を入れている。このような家のユーザーは、環境保全に配慮した暖房設備として薪ストーブの導入に前向きであるが、薪を安価で継続的に確保することが課題となっている。このような中、●●村では、里山を経済的な価値を生み出す薪炭林として再び活用することで、地域の森林環境保全と産業・経済の活性化を進めたいという議論が盛んになってきている。そこで、本事業では、里山の整備促進と村の産業・経済の発展を目的として、里山整備によって出る広葉樹（コナラ等）の伐倒木を薪として商品化し、販売する仕組みを確立することに取組む。
主な事業内容	以上の目的を達成するため、本事業では以下の内容を実施する。 ア計画 ①薪生産可能量の調査 ②ニーズ調査Ⅰ（薪ストーブユーザーに対するアンケート調査） ③ニーズ調査Ⅱ（薪ストーブ導入希望者に対するインタビュー調査） ④薪生産・販売計画の作成 イ試行 ①薪販売のチラシ、パンフレットの作成 ②薪紹介ウェブサイトの作成 ③薪割と薪ストーブ体験ワークショップ ④薪の生産・販売の試行 ウ評価 ①薪利用者を対象とした満足度調査アンケート ②次年度以降のアクションプログラム作成

② 平成22年度の取組、助成金の要望額、実施期間

①に記入の事業内容に関連づけて、平成22年度に助成を受けて実施する取組、及び、助成金の要望額について、該当の事業区分（ア計画、イ試行、ウ評価）毎にご記入下さい。また、実施期間についても記入下さい。
※支援が決定した場合には、本欄の記入内容は公表を予定しておりますので、予めご承知おき下さい。

取組	ア計画	■薪生産の事業化可能性調査と生産・販売計画の作成 里山整備に伴い発生する伐倒木を薪として販売する事業の立上げに向けて、事業化可能性を調査する。生産可能量、生産コスト、ユーザーのニーズ等を把握し、顧客像や顧客が求める商品仕様・提供方法を具体化し、生産・販売計画等を盛り込んだ事業計画を作成する。	（助成金要望額） 1,800,000円
	イ試行	■薪生産・販売の試行 アで作成した計画を元に、里山整備に伴う伐倒木を活用した薪生産の試行、薪の受注・販売活動の試行、薪ユーザー拡大に向けた普及広報活動を実施する。薪の生産～販売の業務プロセスを確立するとともに、実際のコスト構造が事業として成立可能か検証する。	（助成金要望額） 800,000円
	ウ評価	■薪生産・販売に対する薪ユーザーの評価 薪生産・販売の試行（本事業のイ試行において実施）の結果を受け、薪ユーザーに薪販売の仕組みや価格、サービス内容等についての評価を得る。薪販売の仕組みやサービス内容について、改善ポイントを抽出し、それらについての改善方法を具体化する。	（助成金要望額） 200,000円
実施期間		助成金の交付決定日から平成23年3月10日まで	

(4) 本申請事業に係る地方公共団体との関係性

①地方公共団体の協力・了解の状況

事業に対する地方公共団体の協力・了解に関する状況	協力･了解の状況	①協力・了解を得ている　②検討・調整中　③その他
	（①②③の具体的内容について記入下さい）	本事業の計画について、＊月＊日に●●村産業課長、産業課農林進行係長と協議を行った。その結果、本事業計画の実施に対して、村役場から口頭で了解を得た。現在、村役場内では協力書の決済手続き中であり、＊月＊＊日を目処に協力書を提出することができる。 関係する地方公共団体からの協力・了解について、対応状況を必ず記載してください。
関係地方公共団体の名称	フリガナ　○○ケン●●ソン ○○県●●村	○○市、△△町、××村等と記載してください。地方公共団体の出先機関の助成・同意を得る場合は、○○市◇◇支所、○○県◇◇振興局、○○県◇◇林務事務所等と記載してください。
代表者	フリガナ　ソンチョウ　＊＊＊　＊＊＊ 村長　＊＊　＊＊	都道府県・市町村の場合はその首長名、都道府県・市町村の出先機関の場合はその機関の長名（支所長、振興局長等）を記載してください。
所在地	住所　（〒　000－0000　） ○○県△△郡●●村◇◇1番地	
担当者	フリガナ　×××　×××× ××　××	
担当者所属	フリガナ　●●ソンサンギョウカ ●●村産業課	（役　職） 農林振興係長
担当者連絡先	TEL：0000-00-1111　FAX：0000-00-1112 E-mail：●●@***.or	自治体の担当者名、連絡先（ご相談されている段階も含む）を記載してください。

注 1）支援を受けるためには、山村再生プ　って選考されたプランであって、かつ、関係する地方公共団体から事業実施に対する協力や了解を得ていることが必要です。
注 2）申請者が、地方公共団体の場合には記入不要です。地方公共団体以外の申請者は、必ず記入下さい。
注 3）「同意の状況」が「①協力・了解を得ている」の場合には、そのことを証明する資料の写しを添付下さい。
注 4）地方公共団体の対応状況について確認するため、地方公共団体へ問合せを行う場合がありますので予めご了承下さい。

②優先採択に関する事項

項目	回答（どちらかに○）
地域再生法（平成 17 年法律第 24 号）5 条に規定する地域再生計画における、本申請の事業計画に関する記載の有無	記載あり・記載なし （※記載がある場合は、その写しを添付資料として提出すること）
山村振興法に基づく振興山村での事業実施	該当する・該当しない
定住自立圏構想に参加する地方公共団体での事業実施	該当する・該当しない

(5) 他の補助金等との関係

本申請と同一または関連する内容で、国及び地方公共団体等の補助金を、

① 過去に交付を受けた場合
② 現在交付申請中の場合
③ 今後交付申請予定の場合

は、当該補助対象事業の内容について記入すること。

事業の名称	平成 21 年度山村再生プロジェクト
実施年度	平成 21 年度
応募先機関	日本森林技術協会
交付金額	￥1,200,000（実績額）
補助対象の内容	●●村民を対象とした里山整備活動の受入れ希望調査、●●村を来訪している観光客を対象とした里山整備活動への参加意向調査を実施し、都市住民と●●村住民の協同による里山整備ツアーをプログラム化。モデルツアーを合計 5 回実施し、のべ**名の参加を得た。

注 1）本申請と同一期間に重複する内容で他から補助金交付を受けた場合には、交付金の返還が必要になります。

(6) 事業担当者の連絡先

担当者	フリガナ　シンリン　イカス 森林　活	
所　属	フリガナ　●●ムラノサトヤマヲイカスカイ ●●村の里山を活かす会	（役　職） 事務局長
連絡先	住　所　（〒　000－0000　） ○○県△△郡●●村◇◇1234番地 TEL：　0000-00-0000　FAX：　0000-00-0000 E-mail：　●●-ikasukai@****.jp	
特記事項	団体の構成員で、事務局長職	

注 1）事業担当者は、原則として本事業実施主体の構成員であること。
注 2）特記事項には、必要に応じて、事業担当者と事業実施主体との関係について記入下さい。

(7) その他

何によって「山村再生プラン募集」を知りましたか。
あてはまるものすべてに○をつけて下さい。

1．新聞　（具体的に：　）
2．ホームページ　（具体的に：アミタ持続研のホームページを見ました。）
3．知人の紹介　（具体的に：　）
4．パンフレット・チラシ
（具体的に：村役場に備え置きのチラシを見ました。）
5．その他　（具体的に：　）

2．平成 22 年度山村再生プラン　詳細情報シート

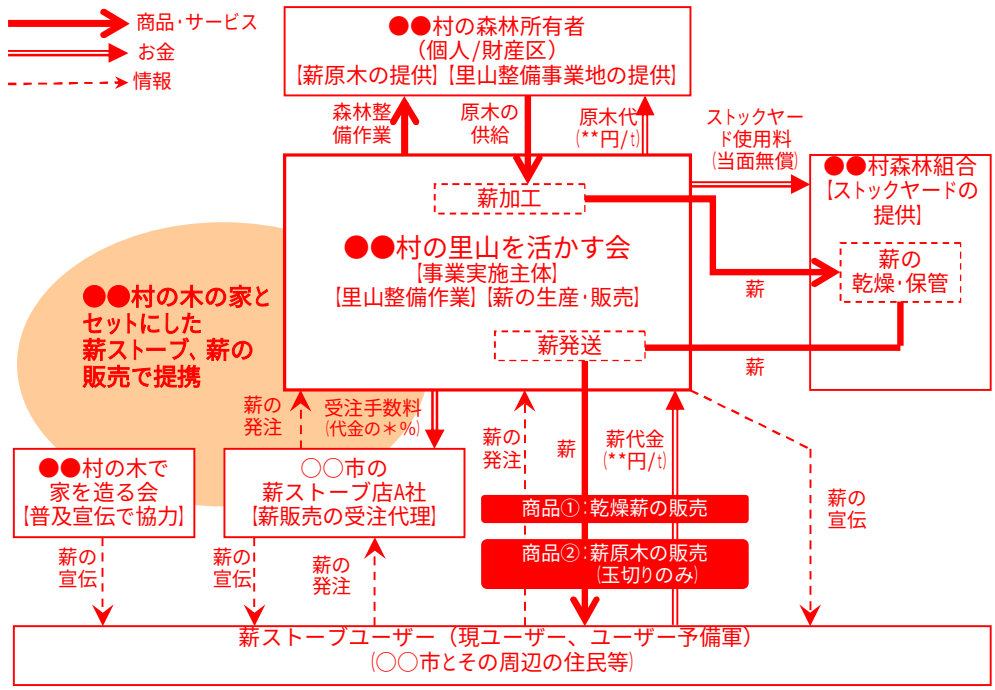
※本様式を使用の上、**原則 A4 用紙 9 枚**で作成して下さい。

(1) 事業の仕組み

①具体的な商品・サービス	●●村の里山で生産された薪（コナラ材）
②対象顧客	●●村の木で家を建てた都市住民を中心とした、薪ストーブユーザー
③営業・販売・課金方法	「●●村の木で家を造る会」およびその提携先薪ストーブ販売店と協力し、薪ストーブの導入時等に薪の供給を家の施主に提案する。課金方法は、薪ストーブユーザーからは薪販売代金を、薪ストーブ店からは薪ストーブと薪のセット販売の受注があるごとに販売協力金を得る。
④仕入・生産・在庫管理方法	仕入・生産：当会が実施する里山整備活動等で出た間伐木を薪に加工 在庫管理：森林組合の空き倉庫を、乾燥施設兼ストックヤードとして借用
⑤広告宣伝・販売促進方法	当会、●●村の木で家を造る会、薪ストーブ店のホームページで宣伝するほか、それぞれの事務所・店舗にチラシを備え置く。
⑥事業実施主体の構成員・役割分担	■全体統括(事業の全体調整、事業責任者) ○○○○（事務局長） ■森林整備・薪生産担当 （里山の整備活動、薪生産、薪在庫管理・発送作業） ○○○○（リーダー）、○○○○、○○○○（メンバー） ■広報・営業担当 （ウェブサイト等の広報資料作成、連携事業体との調整窓口、薪の受注・発送窓口） ○○○○（リーダー）、○○○○、○○○○（メンバー） ■経理・庶務担当（本事業の経理、庶務） ○○○○（リーダー）、○○○○、○○○○（メンバー）

⑦主たる関係者と商品・サービスの流れ

※事業における関係者（仕入先、顧客、その他の協力者等）を挙げ、その間での商品やサービスの流れ（材料の調達、加工、販売）、お金の流れ（課金方法、価格）をまとめて下さい。図式化するなど、なるべくわかりやすく記入下さい。



（2）事業の特徴、課題認識

①新規性・革新性	※事業の新規性・革新性（プランの着眼点、他の事業者よりも先行している点など）について記入下さい。 ・当会と同じく●●村を拠点に活動している団体「●●村の木で家を造る会」と連携することで、木の家という快適な生活空間と薪のあたたかさを同時に届けることができる。薪の利用を通じて●●村の森林環境保全に寄与でき、薪ストーブを介して家を建てた後も地域とのつながりできる、森とつながるライフスタイルを提供する。
②市場性	※事業の市場性（顧客の要望や見込みなど）について記入下さい。 ・〇〇県やその周辺では薪の生産・販売活動を行う主体が無いため、森林所有者と個人的なつながりが無い限りは薪の確保が困難な状況がある。当会が薪を供給する主体となり、薪供給の仕組みを整備することで、潜在的にある薪へのニーズを顕在化させることが可能であると考えている。 ・「●●村の木で家を造る会」によると、薪ストーブに関心を寄せる施主は多いが、薪の確保が容易ではなく、断念する方が多いとのことである。潜在的な需要は少なくないと考えている。
③社会性	※事業の社会性（事業の実施を通じて地域社会へどのように貢献することが可能か、地域を将来どのような状況にしていきたいかなど）について記入下さい。 ・薪供給事業が産業として確立することで、●●村の里山整備を経済的な仕組みを持たせて進めることができる。地域の森林所有者にとって里山を適切に整備するインセンティブとなり、また収入源が増えることにより地域経済への貢献も期待される。 ・薪供給の仕組みを整備することで、薪の確保が容易となり、薪ストーブがある暖かく心地よい暮らしを提供しやすくなる。薪ストーブユーザーは、薪の利用を通じて里山整備に参画することができる。
④優位性	※事業の優位性（実施する上で必要となる技術・経験・ネットワーク・特許などの固有の特徴など）について記入下さい。 ・当会の中核メンバーは●●村の住民であり、森林所有者や林業経験者も多い。そのため、チェーンソーを使った木の伐採、玉切りなどは自分たちで行う技術がある。 ・当会と同じく●●村を拠点に活動している団体「●●村の木で家を造る会」や、その提携先の薪ストーブ販売店A社と連携して事業を実施できる。薪に対するニーズ把握や、将来の顧客獲得に向けた人的ネットワークがある。
⑤課題認識	※事業の立ち上げや実践に関する当面の課題や想定されるリスクと、その対応策について記入下さい。 ・薪を利用したい方々がどれだけいるか、またその総量がどの程度であるかについてのデータがない。そのため、本事業ではニーズ調査を行い、今後の事業展開を考える上での参考とする。 ・また、薪割り体験ワークショップでは、怪我の危険がある。軍手、安全靴などの安全装備を準備するとともに、参加者に対する十分な指導と監督を行う。また、万一の事故に備えて参加者全員に傷害保険をかける。

(3) 事業の実施場所及びその権利関係

（平成22年度事業において、改修等工事費を予定している方は、必ず記入下さい）

※実施場所について記入下さい。特に、事業の実施拠点については、自己所有あるいは、借地や賃貸建物・地上権など、できるだけ具体的に記入下さい。事業の実施拠点となる施設の修繕については、その必要性、利用計画、施設の権利関係（賃貸、使用契約書）について必ず記入下さい。

事業の実施場所は、以下の通りである。

・里山整備と薪生産：〇〇県△△郡●●村◇◇、＊＊氏所有の森林

※森林利用に関する条件を定めた契約を締結済

・薪のストック：〇〇県△△郡●●村◇◇100番地　●●村森林組合所有の建屋

※遊休施設をストックヤードとして借受ける試用許可書を受領予定

(4) 事業の目標（事業実施により期待される成果）

※平成 22 年度の事業の目標（事業実施により期待される成果）とその検証方法、ならびに、次年度以降 5 年間の目標（期待される成果）とその検証方法について記入下さい。

※次年度以降 5 年間については、定量的な目標についても必ず記入下さい（雇用者の増加、事業における売上・利益の増加、定住者の増加、交流人口の増加　等）。

①平成22年度の目標と検証方法

項目	現状（平成21年度）	目標（平成22年度）	検証方法
薪生産・販売計画の作成	―	生産コスト、販売コスト、収支計画の明確化	計画書の作成
薪販売の試行	―	10件程度	販売実績
薪紹介ウェブサイトの作成・公開	―	1,000件のアクセス	アクセスカウンタ
体験ワークショップ	―	参加者合計50名	参加者実績
次年度以降のアクションプログラム作成	―	薪販売の仕組みやサービス内容について、改善ポイントを抽出、実施内容、分担、スケジュールの明確化	アクションプログラム作成

※項目名は適宜変更下さい。また、記入欄は適宜追加下さい。

②次年度以降5年間の目標と検証方法

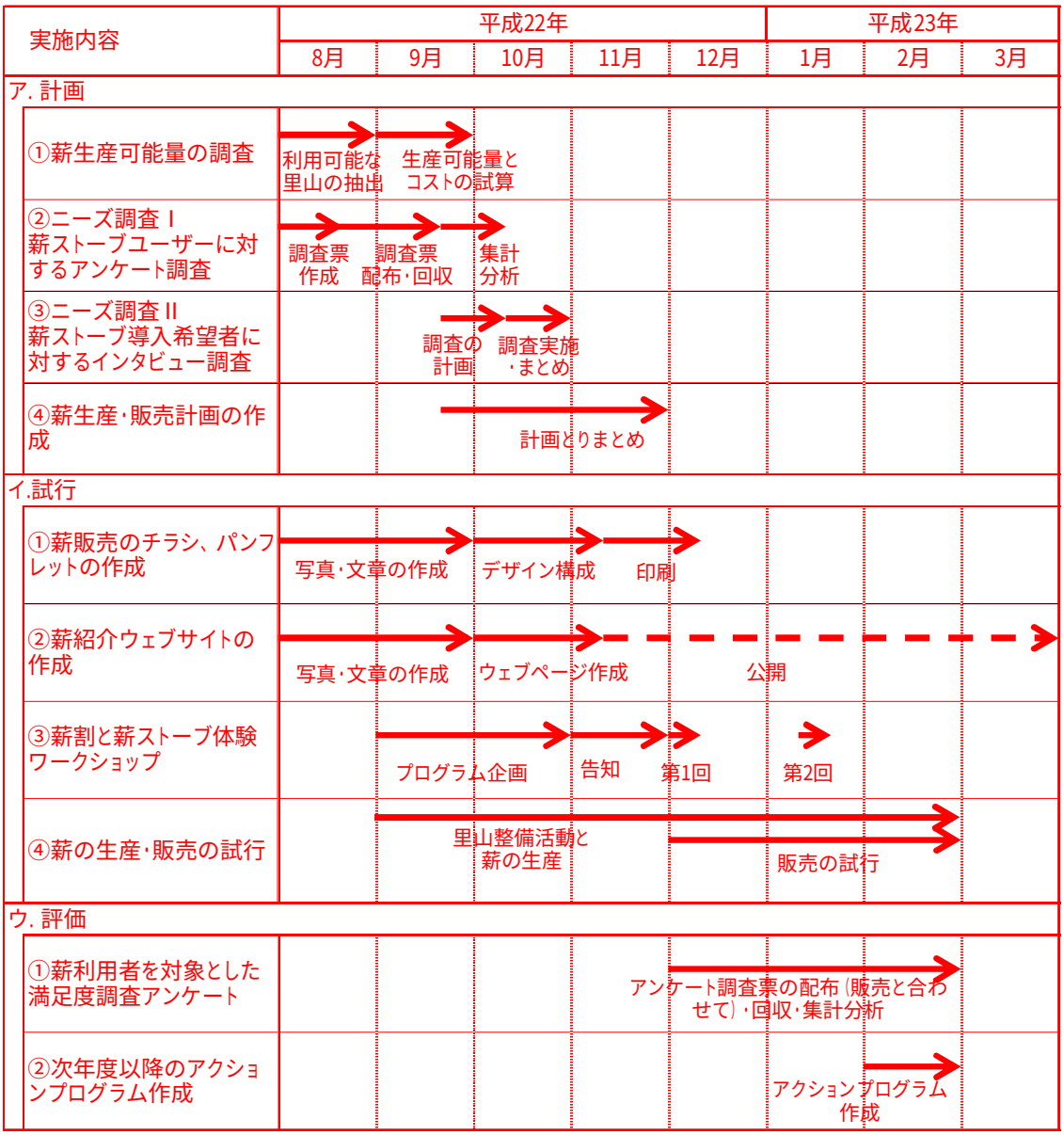
項目	現状（平成21年度）	目標（平成27年度）	検証方法
雇用者数	*名	**名	目標年度の雇用者数から算出
薪の売上高	0千円	****千円	目標年度の販売実績から算出
里山整備面積	**ha	***ha	目標年度までの延べ整備実績から算出

※項目名は適宜変更下さい。また、記入欄は適宜追加下さい。

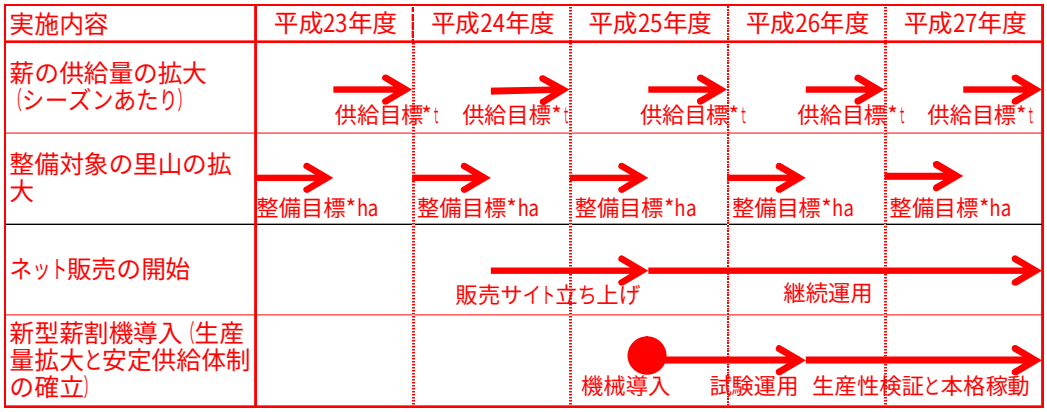
(5) 事業のスケジュール

※平成 22 年度の事業月別のスケジュールを、該当の事業区分（ア計画、イ試行、ウ評価）別に記入下さい。あわせて、次年度以降 5 年間のスケジュールについても記入下さい。

①平成22年度　スケジュール　※事業区分（ア計画、イ試行、ウ評価）別



②次年度以降5年間のスケジュール



(6) 収支予算計画書（平成 22 年度）

※平成 22 年度に助成を受けて実施する取組の資金調達、経費等について記入下さい。

① 資金調達の部

区　　分		金　額（円）		備　考※2
国庫補助金(助成金) （要望額）		ア計画	1,800,000	
		イ試行※1	800,000	
		ウ評価※1	200,000	
		計	2,800,000	
施工主体負担金※2	自己資金		1,000,000	当会繰越金・構成員出資金
	借入金		0	
	民間※3		0	
	地方公共団体※3		0	
	計		1,000,000	
合　計　(a) ※4			3,800,000	

※1）「イ試行、ウ評価」の国庫補助金は、事業費の 1/2 以下ですので、注意下さい。
※2）施工主体負担金については、資金調達の目途が立っている場合には、備考欄に〇印を記入下さい。
※3）民間、地方公共団体からの資金調達が有る場合、その予定額を金額欄に、相手方の名称を備考欄に記入下さい。
※4）資金調達の合計（a）は、必要経費の合計（b）と一致するように記入下さい。

①計画に関する国庫補助金（助成金）の上限は 200 万円を限度としますのでご注意下さい。

②試行、③評価に関する国庫補助金（助成金）は、経費（事業費）の 50%以内ですのでご注意ください。

② 経費の部

募集要領の「別表 1」および「別表 2」を必ず参照し、補助対象となる範囲および算定方法を確認して下さい。

区　　分	細　目	金　額（円）	内　　訳
ア計画	技術者給	0	
	技術者給の目的、単価、回数、支払相手等が分かるように内訳を記入下さい。		
	賃金	300,000	＃＃円/時間×＃＃時間（アンケート調査票作成、分析） ＃＃円/時間×＃＃時間（アンケート発送、回収、整理）
	賃金の目的、単価、回数、支払相手等が分かるように内訳を記入下さい。		
	謝金	100,000	＃＃円/回×＃人×＃回（〇〇県立大学＋＋教授；事業への助言） ＃＃円/回×＃人×＃回(グループインタビュー参加者)
	謝金の目的、単価、回数、支払相手等が分かるように内訳を記入下さい。		
	旅費	200,000	＃＃円×＃人×＃＃往復（●●村⇔＊＊＊；当会職員） ＃＃円/回×＃人×＃往復（●●村⇔＊＊＊；専門家） ＃＃円/回×＃人×＃往復（●●村⇔＊＊＊；グループインタビュー参加者）
	旅費が支払われる経路、単価、回数が分かるように内訳を記入下さい。		
	需用費	500,000	＃＃円/枚×＃＃枚（アンケート調査票印刷） ＃＃円/枚×＃＃枚（グループインタビュー資料印刷） ＃＃円×＃回（会議費） ＃＃円（消耗品費）
	調達する物品等の内容、目的、単価、回数が分かるように内訳を記入下さい。		
	役務費	200,000	＃＃円×＃件（通信運搬費）
	調達する役務等の内容、目的、単価、回数が分かるように内訳を記入下さい。		
	使用料及び賃借料	0	
	賃借する物品等の名称、目的、単価、回数が分かるように内訳を記入下さい。		
	委託料	500,000	＃＃＃円（森林GISのデータ解析；●●村森林組合）
	本事業の一部分について、事業実施主体では実施が困難な内容のみを、他の民間団体・企業に委託できます。事業費の過半が委託とならないようにご注意下さい。 委託をする場合は、委託の内容、委託先、委託金額を記入下さい。		
	小　計　ア	1,800,000	

イ試行	技術者給	0	
	賃金	300,000	＃＃円/時間×＃＃時間 （ワークショップ開催支援）
	謝金	100,000	＃＃円/回×＃人×＃回（ワークショップ講師）
	旅費	60,000	＃＃円×＃人×＃＃往復（●●村⇔○○市；当会職員；打合せ）
	需用費	800,000	＃＃円×＃＃回（チラシ印刷） ＃＃円×＃＃回（パンフレット印刷） ＃＃円×＃＃個（ワークショップ消耗品；軍手）
	役務費	300,000	＃＃円（パンフレットのための原稿料）
	使用料及び賃借料	0	
	委託料	0	
	備品・資材機材購入費	40,000	※積算内訳は次頁③に記入すること
	改修等工事費	0	
	改修工事を行う場合は、回収内容説明書及び見積書を添付下さい。		
	小　計　イ	1,600,000	
ウ評価	技術者給	0	
	賃金	130,000	＃＃円/時間×＃＃時間（アンケート調査票作成、分析） ＃＃円/時間×＃＃時間（アンケート発送、回収、整理）
	謝金	0	
	旅費	20,000	＃＃円×＃人×＃＃往復（●●村⇔○○市；当会職員；打合せ）
	需用費	200,000	＃＃円/枚×＃＃枚（アンケート調査票印刷）
	役務費	50,000	＃＃円×＃件（通信運搬費）
	使用料及び賃借料	0	
	委託料	0	
	小　計　ウ	400,000	
合　計（b）　＝　ア＋イ＋ウ		3,800,000	

※1）金額欄には、確実に支出される項目のみを記入下さい。
※2）内訳欄には、積算内訳を記入下さい。また、積算の根拠が分かるよう任意の様式により、積算の根拠(積み上げ数値の明細)を添付下さい。
※3）委託料は、見積書を必ず添付下さい。（別様でも可）
※4）備品・資材機材購入費については、③の備品・資材機材購入内訳の合計に一致するように記入下さい。
※5）改修等工事費については、改修内容及び見積書を必ず添付下さい。（別様でも可）

③ 備品・資材機材購入費の内訳

備品・資材機材	数量	単　価	金額（円）	用　　途	備　考
斧	5	8,000	40,000	薪割と薪ストーブ体験ワークショップ	
合　　計			40,000		

事業のうち、どの実施内容で使用するのかを記入ください。

注 1）見積書を添付下さい。
注 2）50 万円以上の備品・資材機材については、助成対象外となります。

(7) 平成 22 年度事業における支出経費について

①取組内容の関係性

※「収支予算計画書（平成 22 年度）」の支出経費について、事業区分（ア計画、イ試行、ウ評価）別に、平成 22 年度の取組内容との関係性について記入下さい。

（ア計画、イ試行、ウ評価）

ア計画

1) 薪生産可能量の調査

森林GISを活用し、●●村の森林から薪生産に適した森林を抽出する。

・森林GISの解析作業は●●村森林組合に委託する。（委託料＃＃＃円）

2) ニーズ調査Ⅰ　薪ストーブユーザーに対するアンケート調査

薪ストーブユーザーを対象として、薪確保の現状と薪供給事業へのニーズを把握するためのアンケート調査を実施する。

・アンケート調査票の作成と分析には、＊＊氏を雇用する。（賃金＃＃円×＃日）

・アンケート調査票の印刷は、＊＊＊印刷店に発注する。（印刷費＃＃円/枚×＃＃枚）

・アンケート調査票の発送、回収、入力には、××氏を雇用する。（賃金＃＃円×＃日）

・アンケートの発送・回収は郵送にて行う。（＃＃円×＃件）

3) ニーズ調査Ⅱ　薪ストーブ導入希望者に対するインタビュー調査

薪ストーブ導入希望者を対象として、薪供給事業へのニーズを把握するためのインタビュー調査を実施する。

・調査用資料の作成と調査結果の分析には、＊＊氏を雇用する。（賃金＃＃円×＃日）

・調査用資料の印刷は、＊＊印刷店に発注する。（印刷費＃＃円/枚×＃＃枚）

・インタビュー対象者には、謝金を支払う。（謝金＃＃円×＃人）

・インタビュー対象者の交通費を負担する。（交通費●●村⇔○○市＃＃円×＃人×＃往復）

4) 薪生産・販売計画の作成

生産可能量、生産コスト、ユーザーのニーズ等を把握し、顧客像や顧客が求める商品としての薪の提供方法を具体化するとともに、生産・販売計画等を盛り込んだ事業計画を作成する。

・計画作成には、○○県立大学森林利用学研究室＋＋教授の助言を得る。
（謝金　＃＃円×＃回、交通費●●村⇔○○市＃＃円×＃人×＃往復）

・＋＋教授との打合せ会議を実施する。（会議費＃＃円×＃回）

・事業関係者との打合せのため、当会職員の交通費を計上する。
（交通費●●村⇔○○市＃＃円×＃人×＃往復）

・会議等に必要な文房具を購入する。（消耗品費＃＃円）

イ試行

・・・

ウ評価

・・・

※取組項目ごとに、実施内容、助成金の使途、金額を記入下さい。

※ア計画の記入例を参考に、イ試行、ウ評価についても同様に記入下さい。

※実施内容は、(5)事業のスケジュールとも整合をとって下さい。

※助成金の使途および金額は、(6)収支予算計画書（平成 22 年度）②経費の部とも整合をとって下さい。

②委託経費の考え方

※委託経費の支出を予定している場合は、委託テーマ・内容、委託先、委託しなければならない理由と委託先を選定した理由、期待している成果品を、具体的に記入下さい。また、発注者として、委託業務内容に対する関与の考え方を記入下さい。

・委託テーマ・内容：薪生産可能量の調査のうち利用可能な里山の抽出

・委託先：●●村森林組合

・委託しなければならない理由：●●村の森林から薪の生産に適した森林を抽出するためには、森林GISを用いた分析が効率的であるが、GISデータの整備及びシステム操作および情報の解析には専門的な技術が必要であるため。

・委託先を選定した理由：●●村森林の状況に精通し、●●村の森林情報をGISで管理し、かつそのシステム操作に習熟している主体が他にないため。

・期待している成果品：薪生産の可否、想定される生産可能量、薪生産の想定コストでゾーニングした地図

・発注者としての委託業務内容に対する関与の考え方：GISシステムの操作および情報分析作業は専門の技術を有している●●森林組合に委託するが、調査の枠組みの設定、分析結果の確認は当会が責任を持って実施する。あくまで当会が事業遂行における主体的・主導的役割を果たし、当会では有していない機能・能力を委託先に求めるものである。

(8) 収支予算計画書（山村再生プラン創業後、平成 23 年度以降分）

※申請書に掲げた事業目標（8 ページ：(4)②）に至る年度を目標年度として、その年度の収支計画を記入して下さい。

（単位:千円）

	項　　目	実績見込み 平成 22 年度	目標年度 平成 27 年度	説明・根拠など
収支計画	収入(収益)	4,000	15,000	
	売上高	200	15,000	
	薪販売	200	15,000	＃万円/t、＃＃t の供給
	事業外収益	3,800		
	自己資金	1,000		
	山村再生プラン助成金	2,800		助成金
	支出(費用)	4,000	14,240	
	初期投資	0	0	
	工事費	0	0	
	設備・機械購入費	0	0	
	支出(売上原価)	1,100	13,140	
	原材料費	100	7,500	＃万円/t、＃＃t の原木を調達
	外注加工費	0	0	
	人件費	300	5,000	＃＃円/人日×＃＃日（薪生産・販売）
	労務費	0	0	
	減価償却費	0	400	薪割り機（＃＃円の機械を＃年で償却）
	その他経費	700	240	消耗品費
	販売費・一般管理費	2,900	1,100	
	販売費(広告・宣伝)	700	500	パンフレット、ウェブ等作成
	人件費	400	600	＃＃円/人日×＃＃日（経理・庶務）
	土地・建物賃料	0	0	
	その他経費	1,800	0	
	事業外費用	0	0	
当　期　利　益		0	760	

注 1）諸経費等がある場合にはその他の経費欄に記入することとし、必要に応じて積算根拠を任意様式により添付下さい。

3．過年度山村再生プランとの比較表

※本様式を使用の上、**原則 A4 用紙 1 枚**で作成して下さい。

（1）過年度山村再生プランと平成 22 年度山村再生プランとの比較表

過年度（平成 20 年度もしくは平成 21 年度）に山村再生プランの助成を受けた方で、継続して同様の事業に取り組む方は、本比較表を作成して下さい。

過年度山村再生プラン（実施年度：平成21年度）			平成 22 年度山村再生プラン		
事業名：●●村と都市住民による里山整備活動ツアー受入れ事業			事業名：薪生産・販売による●●村の里山ビジネスの構築		
実施項目	実施成果	今後の課題	実施予定項目	取組内容	成果目標
ア計画 ●●村森林所有者の里山整備の希望調査	●●村の森林所有者を対象としたアンケート調査を実施し、里山整備活動の受入れを希望する所有者を**名（合計**ha）確保した。	里山整備に積極的に協力していただける森林所有者の発掘に向け、村内での普及活動の強化が必要。	ア計画 薪生産の事業化可能性調査と生産・販売計画の作成	里山整備に伴い発生する伐倒木を薪として販売する事業の立上げに向けて、事業化可能性を調査する。	生産可能量、生産コスト、ユーザーのニーズ等を把握し、顧客像や顧客が求める商品としての薪の提供方法を具体化するとともに、生産・販売計画等を盛り込んだ事業計画を作成する。
ア計画 都市住民の里山整備への参加意向調査	●●村に来訪している観光客を対象として、里山整備活動への参加意向等をアンケート調査し、活動参加者側のニーズを把握した。	里山整備活動に参加したい都市住民が多くいることが分かったが、プログラム情報を上手く伝える広報チャネルの確立が課題。	イ試行 薪生産・販売の試行	里山整備に伴う伐倒木を活用した薪生産の試行、薪の受注・販売活動の試行、薪ユーザー拡大に向けた普及広報活動を実施する。	薪の生産～販売の業務プロセスを確立するとともに、実際のコスト構造が事業として成立可能か検証する。
イ試行 里山整備ツアーの試行	里山整備ツアーを合計5回実施し、のべ**名の参加を得た。ツアーの実施を通じて、参加者の満足度が高く、かつ里山整備促進に資する2泊3日プログラムが確立した。	里山整備活動に伴い発生する伐倒木をいかに有効活用するか、里山整備活動の自立・継続的な実施に向け里山からの産品でいかに経済活動を成立させるかが課題。	ウ評価 薪生産・販売に対する薪ユーザーの評価	薪生産・販売の試行（本事業のイ試行において実施）の結果を受け、薪ユーザーに薪販売の仕組みや価格、サービス内容等についての評価を得る。	薪販売の仕組みやサービス内容について、改善ポイントを抽出し、それらについての改善方法を具体化する。

注 1）ご記入に当たっては、過年度の助成事業と本年度申請事業との整合性や違い等の説明（例えば、過年度の事業の成果を踏まえ、よりステップアップした事業を行い更なる成果を期するなど）をお願いします。必要があれば、本様式以外の任意様式の資料も添付して下さい。

4．アドバイザーの派遣要請について

※本様式を使用の上、**原則 A4 用紙 1 枚**で作成して下さい。

(1) アドバイザーの派遣要請の有無等について

アドバイザーの派遣要請について、現時点でわかる範囲で記入して下さい。

アドバイザーを派遣要請する予定がありますか（1つに○）

有り　・　事業実施主体で意中の人をお願いする　・　無し

→　**「有り」**の方は、希望するアドバイザーの専門分野・依頼内容等があれば記入して下さい。

希望するアドバイザーの専門分野	アドバイザーへの依頼内容
マーケティング	試行のニーズ調査や評価の満足度調査の一環で実施するアンケート調査について、調査票の設計や集計・分析の方法について助言を得たい。

※アドバイザーの派遣要請について

① アドバイザーは、事業実施主体からの要請に応じ、取組（山村再生プラン）の活動状況を確認し必要な助言を行うこととしています。

② 事業実施主体に特に意中の専門家（地元の大学、研究所等の研究者や専門家等）がおり、その方の了解が得られる場合には、その方をアドバイザーとすることもできます。

③ 株式会社アミタ持続可能経済研究所では、これらアドバイザー派遣の支援をします。

④ なお、アドバイザー派遣に伴う経費については、全額、株式会社アミタ持続可能経済研究所が直接アドバイザーにお支払いします。

(2) 事業実施主体が意中の人をアドバイザーとしてお願いする場合について

※事業実施主体の意中のアドバイザーについて、記入して下さい。

名前	（フリガナ）	
所属	（組織名称）	（部署・役職名等）
専門分野・依頼内容	（専門分野）	
住所	（フリガナ） 〒	
連絡先	（電話番号）	（FAX 番号）
	（e-mail）	

アドバイザーとして派遣して欲しい方が決まっている場合のみ、ご記入下さい。